

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	令和3年度第1回河内長野市文化振興計画推進委員会
2 開催日時	令和4年2月2日(水) 午前10時30分から
3 開催場所	市役所 5階501会議室、オンライン
4 会議の概要	(1) 委員長・副委員長の選任について (2) 会議の公開及びその方法 (3) 第2期文化振興計画の進捗状況について (4) 文化会館ラブリーホールにおける文化振興事業について (5) 第2期文化振興計画の今後の検証及び評価について (6) その他
5 公開・非公開の別 (理由)	公開
6 傍聴人数	0名
7 問い合わせ先	(担当課名) 生涯学習部文化・スポーツ振興課 (内線 746)
8 その他	

\*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

## 令和3年度第1回河内長野市文化振興計画推進委員会 会議録

日時 令和4年2月2日（水）午前10時30分～正午  
場所 河内長野市役所501会議室、オンライン（ZOOMミーティング）  
出席者 <オンライン> 中道委員、来村委員、車谷委員、寶楽委員、中脇委員  
<会場> 末延委員、荒川委員、水落委員、小松委員  
(河内長野市) 小川部長、二井課長、東補佐、山口係長、島津副主査  
(河内長野市文化振興財団) 前田館長、吉富次長、岡本マネジャー

### 山口係長

ただ今から、河内長野市文化振興計画推進委員会を開会いたします。委員の皆様には、公私何かとお忙しいところ、ご出席いただきましてありがとうございます。会議の開会に先立ちまして、河内長野市教育委員会生涯学習部長の小川より、ごあいさつ申し上げます。

### 小川部長

ただ今ご紹介いただきました生涯学習部長の小川でございます。本日はお忙しい中ご出席賜り誠にありがとうございます。また、平素は河内長野市文化振興計画推進委員会をはじめ、本市文化行政に格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当委員会は、令和元年度末となる令和2年3月27日に、新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催させていただいて以来、約2年ぶりの開催となります。改めてご紹介いたしますと、当委員会の設置根拠ともなっております河内長野市第2期文化振興計画では、「市民が文化を身近に感じ、いきいきと心豊かに暮らすまち～ひとと人がめぐりあい、感動と活力を生む河内長野型文化事業の創出～」を基本理念としております。本市としましては、当計画の理念や、これまでラブリーホールなどで取り組んでまいりました文化振興事業をさらに発展、推進し、市民の文化活動の発展と継続を図ってまいりたいと考えております。

また、当計画は、平成28年度から令和7年度までの10年間を計画期間とし、2年ごとに進捗状況の評価、検証を行っておりますことから、このたびは計画に基づく各施策、特に文化振興事業の進捗状況について、総合的な観点から評価やご意見をいただきたく、委員会を開催させていただきました。この間、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、多くの事業が延期や中止を余儀なくされておりますが、このような困難と不安の中で、私たちに安らぎと勇気、明日への希望と活力を与えてくれるものが「文化芸術」であり、今後のウィズコロナの時代にあって、社会全体の健康や幸福を維持するうえで今まで以上に必要不可欠なものであると確信しております。

つきましては、委員の皆様方には、幅広いご意見と活発なご議論をいただきまして、本市の文化振興の施策展開に活かしまいたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

### 山口係長

河内長野市文化振興計画推進委員会運営規則第5条第2項の規定により過半数の5名以上の出席が必要となっております。現在、4名様出席と、オンラインでの出席5名様をあわせて、5名以上という会議成立の要件を満たしておりますのでご報告します。

それでは、次第に基づき、案件1委員長・副委員長の選任に移ります。当委員会では令和2年3月に皆様を委員に委嘱させていただきましたが、その後、新型コロナウイルス感染症の拡大により書面での開催を除き、会議の開催がございましたので、本日が最初の会議となります。そこ

で、委員長と副委員長を選任していただく必要がございます。委員長および副委員長は、河内長野市文化振興計画推進委員会運営規則第4条第1項の規定により、委員の互選によって選出となっております。どなたか推薦はございますか。それでは事務局案として、これまでに引き続き、委員長は末延委員に、副委員長は荒川委員にお願いしたいと思っておりますがいかがでしょうか。

(拍手)

ありがとうございました。ご異議なしと認め、末延委員長、荒川副委員長にお願いしたいと思います。それでは、末延委員長、恐れ入りますが、今後の議事進行をよろしくお願いいたします。

末延委員長

荒川副委員長からも一言ご挨拶をお願いします。

それでは、案件2会議の公開及びその方法について、事務局から説明を求めます。

山口係長

河内長野市附属機関等の設置、運営及び公開等に関する指針に、「会議の公開又は非公開は、附属機関等の長が当該附属機関等にはかって決定する」とあります。過去に開催しました当委員会の会議においても公開としておりましたことから、引き続き、当委員会は公開とさせていただきたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。また、同指針第13項に「会議の公開は、会議の傍聴を希望する者に、当該会議の傍聴を認めることにより行う」とありますので、傍聴に関して必要な事項を定めさせていただきたいと思っております。併せてご審議をお願いいたします。

末延委員長

今後、当委員会の会議を公開することにご異議ございませんか？意義なしと認め、当会議を公開とし傍聴を許可します。傍聴者がおられるようであれば入室させてください。

それでは、次の案件に移ります。案件3第2期文化振興計画の進捗状況について、事務局から説明をお願いします

島津副主査

お手元の「河内長野市第2期文化振興計画」関連事業一覧表をもとに、計画の進捗状況を説明させていただきます。第2期文化振興計画は、平成28年度から令和7年度の10年間を計画期間とし、2年ごとに、各施策の進捗状況の管理、評価指標による評価、担当課や連携組織の所感などによる評価・検証を行っております。そこで、今回は、令和元年度及び令和2年度の2年度分について関連事業一覧表を作成しましたので、これをご説明させていただき、委員の皆様から当計画の進捗状況の総合的な評価や意見を頂戴したいと存じます。

末延委員長

次の案件4文化会館ラブリールホールにおける文化振興事業については、意見が重複する部分も多いと思っておりますので、併せて事務局から説明を求めます。

二井課長

これまで、文化会館及び市民交流センターは2館一体で河内長野市文化振興財団を指定管理者として運営を行ってまいりましたが、令和4年度より市民交流センターの運営を、教育委員会が直接運営を行うことにいたしました。これにより、市民交流センターの様々な機能の再構築を図り、令

和6年度からの新たな組織体制による管理運営を目指すものでございます。

一方で、文化会館ラブリーホールでは、市の指定管理者制度における公平性を確保するため、令和4年度からの指定管理者を広く公募を行いましたところ、文化振興財団からご応募いただき、12月の市議会で、同財団に指定管理者をお願いすることになりましたので報告させていただきます。

それでは、河内長野市文化振興財団から、案件4文化会館ラブリーホールにおける文化振興事業について説明させていただきます。

#### 前田館長

河内長野市文化振興財団ラブリーホール館長の前田です。文化会館ラブリーホールにおける文化振興事業につきまして説明させていただきます。

#### 末延委員長

それでは、委員の皆様からご意見を頂戴します。

#### 寶楽委員

関連事業一覧表の誤りの訂正をお願いします。令和2年度「奥河内音絵巻」は実施しています。

コーディネイト機能が弱いので、この機能を育てていただきたい。専門家でなくても、分野を超えて活動をしている人や公民館の職員などの人材を活用し、コーディネイトできる専門家を育てるより、職員の中からコーディネーターが育ってほしい。

#### 車谷委員

財団の取組は素晴らしいと思うが、市内の施設の役割がわかりにくい。文化会館と公民館の関係性がどうなっているのかと思う。

文化会館では音楽系の事業が多いので、委員に音楽の専門家をいれてはどうか。委員の構成を考え直してもよいと思う。

コロナ禍で、子どもたちの創作活動がどうなっているかが気になる。

#### 来村委員

関連事業一覧表の表現がわかりにくい。矢印は左側の状態が継続しているという意味でよいか。

→そのとおりです。(事務局)

事業を実施している。していないだけでなく、実施した事業に対して、それぞれの担当課の評価を記入し、分析できるようにしたほうがよい。

#### 中道委員

コロナで事業をやめるだけでなく、ピンチをチャンスに変えて実施する方法、新しい方法を開発したほうがよい。例えば、公演の映像を撮影し、動画配信することで、これまでラブリーホールに来たくても来られなかった人に届けることができるようになる。

#### 中脇委員

関連事業一覧表の作り方について、それぞれの事業が循環している。相互に波及しながらつながっている。円環を描いていることが実感できるような資料の作り方になるように工夫してほしい。

#### 水落委員

文楽劇場もコロナ禍での公演の在り方、コロナとの共生、アフターコロナを模索している。高齢者の足が遠のいており、何とかしなければと危機感を抱いている。

#### 小松委員

公民館の事業の実施状況をご説明したい。令和2年度はコロナの影響で、2／3の主催事業が実施できなかった。活動発表展・公民館まつりも実施することができなかったが、作品展・ロビー展として、成果発表を行った。

子どもを対象とした教室も実施しており、活動に参加する子どもたちがいきいきと、達成感を感じている様子が見受けられた。また、コーディネーターや指導者となる人材育成は公民館でも行っている。

公民館活動の取組を市全体の文化振興にどう活かすかが課題である。

#### 荒川副委員長

コロナのマイナス面が強調されるが、プラス面もあるのではないかと。ZOOMが普及し、リモートでの会議ができるようになることなどはコロナ前では考えられなかった。

コロナ対策で新たに開発された技術は、コロナ後も役に立つだろう。学校ではひとりに1台PCがあるのだから、アーカイブ資料・映像を発信することで遠隔のアウトリーチ（バーチャルアウトリーチ）も可能になるのではないかと。

#### 末延委員長

子どもが動けば親が動くことになるので、子ども目線の事業展開が必要だと思う。費用面の課題などもあると思うが、子ども美術館の設置を検討してほしい。

#### 末延委員長

最後に、案件5第2期文化振興計画の今後の検証及び評価について、事務局から説明をお願いします。二井課長よろしくをお願いします。

#### 二井課長

第2期文化振興計画が策定されて早5年が経過し、近年の新型コロナウイルス感染拡大などにより、社会情勢や市民意識も大きく変化しました。今後は、ウィズコロナ時代を迎えて、文化振興事業など各事業の進め方や評価及び検証の方法などを再構築する必要性を感じております。

そこで、本日いただきました皆様からの貴重なご意見をふまえ、各事業の内容や進め方の見直しに着手し、計画が定める2年ごととなっております次回の事業報告及び評価検証につなげてまいりたいと考えております。

#### 末延委員長

今後の検証及び評価は、課長の説明で皆様よろしいでしょうか。それでは意見も出尽くしたようですので、本日の案件は終了とし、これにて閉会といたします。皆様、お疲れ様でした。